

きんもくせい

令和3年 学校教育だより

May 5 第349号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711(内線623)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



新鮮な気持ちで迎える入学式

写真提供/西中学校

花

本郷中学校 三年

西巻 心花

花に色があるように
自分の色で輝かせたい
花が空に向かって咲くように
可能性と希望を咲かせたい
花が折れても立つように
諦めずに夢を追いかけて
花と花が共に咲くように
仲間と共に助け合いたい
花が雨でぬれるように
時には涙を流してもいい
大きな花が咲かなくても
小さな花が咲けばいい
いつか咲く色とりどりの花を
仲間と一緒に

楽しく取り組む外国語教育

小学校では、昨年度より、三・四年生で週一時間の外国語活動、五・六年生で週二時間の外国語の授業が行われています。人と人とのかわり合いを通して、子どもたちのコミュニケーション能力や、異文化を大切にする心を育てていきたいという思いから、外国語の授業づくりをしています。本校が外国語教育でめざす児童の姿は次のとおりです。

- ・外国語に慣れ親しみ、楽しみながらコミュニケーションを図ろうとする児童(三・四年生)
- ・友だちとのかわりを大切にし、自信をもって表現できる児童(五・六年生)
- ・HRT(学級担任)、JTE(日本人英語教諭)やAET(英語指導助手)、そして友達との会話を楽しむ中で、人とのかわり合いを大切にしたり、できた喜びを十分に味わったりすることを通じて、自分に自信をもつことができる児童、自分の考えを進んで表現することのできる児童を育てています。その取組について紹介します。

大切に、 ら外国語を学ぶ

指導者 針ヶ谷小学校 教諭 荒井 貴美子

身に付けさせたい力の 明確化

学習の流れや毎時間の課題を提示したり、単元を通して学ぶことをはっきり示すことで、子どもたちが見通しをもって学習に取り組めるようになります。

AETとの連絡表を活用しながら、授業について相談し、JTE、HRTとAETが共通したためあてをもち、効果的に役割分担をしながら、授業を進めます。

また、中心になる活動として、その時間の最も大切な事柄をあらわす一文を子どもたちに意



識させることができるよう工夫して設定します。実際に使う場面との結びつきや、その表現を使う必要性のある活動となるようにしたり、楽しみながらたくさん話せるように、ゲーム



針ヶ谷小学校 6年 小島 詩生

入学式で感じたこと

私は代表委員として、重要な仕事を任せられました。それは、入学式に出席して、かん迎の言葉を言うことでした。「1年生に小学校で楽しく過ごしてもらいたい。」と思って話をしました。「全校遠足、あさがおの種まき、針小まつり、音楽会など、楽しい行事や学習がたくさんあります。」と、もっと大きい声で言えばよかったと思いましたが、ドキドキしながらがんばることができました。

私は、6年生として、1年生にいろいろなことをやさしく教えてあげて、1年生といっしょに楽しい時間をたくさん過ごしたいと思います。



性のあるアクティビティを設定したりします。その際には、勝ち負けや早さにこだわらない活動になるように、ルールを工夫します。

学び合う場や方法の工夫

その時間のキーセンテンスに合わせて、ペア・グループ・全体での活動を取り入れます。

AETと連携して、授業の導入やアクティビティ前のデモンストレーションでは、お互いに会話のやりとりをする姿を見せることで、子どもたちに興味関心をもたせるようにします。

また、やりとりの場面を工夫することで、キーセンテンスとなる表現を実際にどう使うのか、理解させるようにします。

学校に常設した外国語ルームは、プロジェクターとデジタル教材を使い、AETがいない時でも正しい発音を教えることができるようになっていきます。イラストや動画などを簡単に表示することができ、子どもたちが容易に理解できるようになっています。

指示を出す時の表現や、ほめる表現 (Classroom English) を、授業の中で積極的に使う

わかる授業 二小学校 外国語教育二

人とのかかわりを 楽しみながら

ように工夫しています。



支援と評価の工夫

高学年の外国語では、会話のやりとりや、スピーチ等のパフォーマンステストをしています。その評価として、次の四点(①EST)を示し、子どもたちにも意識させながら取り組ませます。

- ・Big voice(Clear voice)大きな声で
- ・Eye contact 相手の目を見て
- ・Smile 笑顔で
- ・Try 挑戦しよう

授業の終わりは、その時間の学習をふり返り、児童の言葉で、その時間に学んだこと

特色の二つ目は、富士見

つるせ台に咲くひまわり

つるせ台小学校 教諭 矢場 栄子

つるせ台小学校には「ひまわり学級」という特別支援学級があります。今年も一年生から六年生まで十一名の子どもたちが在籍しています。特色をいくつか紹介します。

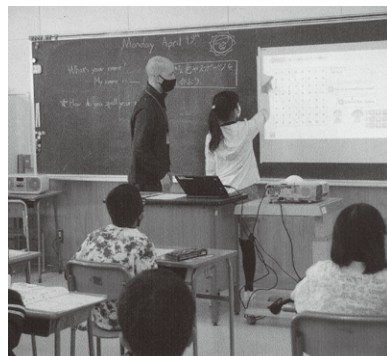
一つ目は、子どもたちには交流学級があり、個の成長を生かしながら、友達と一緒に活動していることで

す。先日は、体育のリレーでひまわり学級の子どもが「走力」に自信が無い。」と言うと、交流学級の児童が自主的に「じゃあ、○○さんは短い距離にしよう。」と、アイディアを出してくれました。各学級がひまわり学級の子どもたちを含めたクラス作りをしているので、どの子どもも安心して過ごすことができます。

これからも小中学校の友達や先生、地域のみなさんと共に、ひまわり学級の子どもたちは笑顔いっぱいになって過ごしていきます。

や感想等を記入し、自己評価を行っています。

また、単元ごとにキーセンテンスを伝えるのに効果的なワークシートや黒板の掲示物を考え、作成しています。必要に応じて、英語に読みがなをつけるなど、苦手な児童も安心して話すことができるよう工夫しています。



English Day の実施

学校全体で外国語に慣れ親しむ環境づくりとして、週に一日English Dayを設定しています。英語の挨拶をしたり、English Songを放送したりすることで、英語にふれる機会を増やしていきます。

今後の課題

外国語・外国語活動では、子どもたちの個人差が大きく、得意な子どもも苦手な子ども

も達成感もてるように、アクティビティの内容や支援の仕方を工夫していく必要があります。子どもたちが自信をもって表現できるようにするには、「使う表現がわかること」、「失敗をおそれず、トライすること」ができる雰囲気づくりが重要です。

コミュニケーションを大切に、外国語を楽しみながら学び、中学校での英語教育へ円滑につなげていきたいと考えています。

指導・講評

針ヶ谷小学校長 辻口 幸恵

今年度から本校と関沢小学校に英語指導専科教員が配置されました。これにより、小学校での英語教育がさらに充実し、スムーズにおこなわれるようになります。荒井教諭は、四年生の外国語活動と五・六年生の外国語科(英語)を担当し、AETと一緒に、子どもたちがわくわくする活動をたくさん取り入れ、工夫しながら授業を行っています。両校で共通の指導が行われ、中学校に進学後の学習も、スムーズに進められます。

言葉にして伝える

本郷中学校 学習支援員 黒崎 千晶

私は、「学習支援員」として現在本郷中学校で、数学・英語家庭科を中心に学習活動のお手伝いをしています。

学習支援とは、具体的には授業の中で、生徒が自分で課題を解くようなときに、わからないところを説明したり、一緒に考えたりすることです。

生徒の皆さんは、大人が考えるよりずっと真剣に授業を受けています。どの生徒の中にも、きちんとやりたい、頑張りたいという気持ちがあるからです。

しかし、初めてやる問題や自分で解いてみようとなった時などに、「このやり方でいいのかな?」「思わず手を止めたまま迷っている」ともあります。

そんな時、やり方だけを伝えてしまうと、二見して早く問題が解けるので良いように見えるのですが、どこまでがわかっていたのか、どこがわからなかったのかに気付けないままになってしまっておそれがあります。やはり、時間はかかったとし



てもどこがわからないのかを生徒自身が言葉にして伝えることが、まわり道でも大事だと思います。

自分のわからないことを他人に伝えるのは、とても難しいことですが、頑張つてそれができた時、単に問題の答えだけではない大切なものを得られる気がします。

そして、それを得ている人は既にたくさんいると感じている今日この頃です。



みんなで取り組む いじめ撲滅運動

鶴瀬小学校

本校では、児童会の活動の一つとして「いじめゼロキャンペーン」に取り組んでいます。いじめはいけないことだと児童は分かっていますが、学校全体でこの活動に取り組むことで、より強く意識するきっかけになっていきます。

令和二年度は、いじめをしないと宣言し署名をした人にオレンジリボンを渡し、名札につけるようにしました。ただ署名をするだけではなく、宣言

したことが分かるようにすることで、互いに注意し合うのではないかとという意見が児童の中から出たからです。

その結果、多くの児童がこの活動に賛同してリボンをつけ、ときには、児童同士で声をかけ合いながら、互いを思いやる姿が見られるようになってきました。

自分たちの生活をよりよくするためにどうするかを自ら考え、実践していくこのような



活動をこれからも大切にしながら笑顔あふれる鶴瀬小学校をつくっていききたいと思います。

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

人との出会いは成長の第一歩

水谷東小学校 保護者 新井 多希子

水谷東小学校には「三つの心」という大切なキーワードがある。それは「チャレンジする心、がまんする心、豊かな心」だ。何事にも挑戦し、社会的ルールを身に付ける。そして、周りの人を大切にできる優しさを育てる。大人にもグツと心に刺さるキーワードだ。

息子には、「失敗してもいいから挑戦してごらん。」「約束は守ろうね。」「お友達と仲良く

してね。」と常々、話しているものの、いざ自分はどうだろうかと自問自答するも、偉そうなことは言えないと反省した。

そんな中、三年前にPTA会長に推薦されるといふチャンスが訪れた。息子に「大変だし、難しいことかもしれないけど、勇気を出して挑戦してみようね。」と宣言した。

PTA会長としての責任は

非常に重く、我慢を強いられることも少なからずあるが、それ以上に多くの方との出会い、人脈の広がりには私自身を大きく成長させてくれた。多種多様な意見を聞くことができ、考え方の幅が広がる。これこそ豊かな心を育むために必要なことなのだと思う。

未知の世界に踏み出すことはすごく勇気のいることだ。苦しいこと、つらいこともあるだろう。しかし、目標をもって勇気を出して一歩踏み出した先の世界には必ず視野を広



『念願の金メダル!』

諏訪小学校

諏訪小では、「凡事徹底」を合言葉に、挨拶・返事・くつそろえが当たり前に行っているよう、様々な取組を行っています。

昨年度は、校長先生が不定期に下駄箱を調べ、メダルを配布するという、くつそろえの取組を行いました。

各学級では、くつそろえ当番を作り、朝・業間休み・昼休みの三回チェックを行っています。

げてくれる何かが待っていると子どもたちに伝えたい。毎日が出会いの連続だ。子どもたちには、自ら人との境界線や人脈の限界を作らないでほしい。心からそう願っている。



した。当番の子が、自作のくつそろえ表を作り、そろっていない子の番号を控えて声をかけました。はじめは、銅や銀ばかりでクラスの中でもやる気のある子は半数程でした。しかし、当番の子は毎日欠かさず知らせて、金が取れるように頑張る声かけました。

そして、時間はかかりましたが、ついに金メダルを取ることができました。その日から、

教育課題特集

生きる力を

全員が「金メダルしか取らない」という意識で、団結してくつそろえができました。今年度も、諏訪小の二員として凡事徹底を意識して、子どもと接していきたいです。



伸びる 超える 富士高生

富士見高校 校長 水野 浩樹

見晴らしのよい清々しい場所に立つ、さわやかな風がそよぎ、光あふれるキャンパスで教育活動を進めています。

駅からは若干距離がありますが、視点を変えたと自転車だけで通えて、通学費用がからず体力も鍛えられる便利な地元の学校と言えます。

富士見高校では、進路指導に力を入れており、「進路は絶対富士見高校」と言っていたことも多くなりました。コロナ禍で厳しい状況の中、今年の卒業生もよく頑張りで、様々な大学、医療看護系への進学などを決め、例年以上の結果を挙げてくれました。

※学校HPを参照ください。また、一人一人異なる「学びもれの穴をうめる」ため、昨年度から生徒全員が動画学習システムのスタディサプリを活用した学習に本格的に取り組んでおり、利用は県でトップクラスとなっています。

生活指導においては、「時間を守る、みだしなみを整える、挨拶をする」を重点的に

指導しており、社会に出た際の底力を身に付けさせています。

通学時の自転車マナーなど、まだまだ課題はありますが、「よい意味で予想を超え、伸びていく生徒」を育成し、卒業後に、「富士見高校を卒業しました。」と言った際に、「それはよい学校を卒業しましたね。」「富士見高校の卒業生なら安心ですね。」と言ってもらえるように指導してまいります。今後どうぞよろしく願います。





つるせ台小

満開の桜の花から葉桜になりはじめた中、市内のすべての小・中・特別支援学校で入学式が行われました。
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染防止の観点から制限された中での入学式となりました。新入生たちは新しい学校生活に期待と不安を抱きつつ、この日を迎えたことでしょうか。また、在校生たちも一つ学年が上がリ、新入生のために準備し、気持ちを引き締めて新学期を迎えたことと思います。
この学校TODAYでは、各校の特色ある活動の様子を紹介させていただきます。生き生きとした表情で学校生活を送る子どもたちの姿を是非ご覧ください。

受け継いだ檜、新6年生の初仕事

学校のリーダーとして迎える新6年生。小学校生活が楽しみになるように、1年生の教室を美しく飾りました。



南畑小

第60代 南畑小鼓笛隊「響」です

鼓笛隊の引継ぎ式が行なわれました。伝統のバトンを受け継ぎ、6年生を中心に素敵なメロディーを奏でていきます。



水谷小

ありがとう、6年生

今年度も、水谷小学校のリーダーとしてがんばってくれた6年生。感謝の気持ちを込めて送り出すことができました。



本郷中

3年間の思い出をスタンドグラスに

「卒業を祝う会」で1、2年生が作成したスタンドグラス。体育館の暗幕が開けられると「おーっ!」という歓声が…。1、2年生の思いが3年生に伝わった瞬間でした。

II 市教育相談室よりII

『教育相談Q&A』

Q 「あすなる」ってどんな教室？

A 「あすなる」とは、富士見市教育相談室（富士見特別支援学校三階）に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、さまざまな理由から登校していない、または欠席がちになってくる児童生徒に対し、社会的な自立に向けた支援をしています。

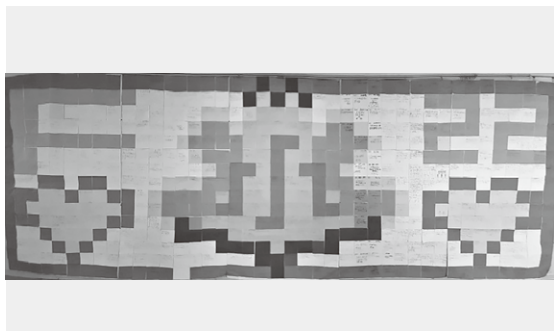
「あすなる」は、午前九時から午後二時三十分まで開室しています。本人の意思を尊重しながら、個々の状態に応じて通い方や過ごし方を保護者の方と一緒に考えていきます。

「あすなる」では、様々な体験活動や遊びを通じて情緒の安定を図り、小集団による人と人とのかわりを通して、自主性を育てています。また一人ひとりの学力に応じた学習支援を進め、学習の遅れやつまずきの解消を目指しています。

〈開室期間と主な体験活動〉

一学期 四月八日から七月八日

始業式、花の苗植え、ピーマン・プチト



ふじみ野小

「なかよし集会」を開催!

全員の心をつなげて、色紙に「こんな学校にしたい」という気持ちを書き、貼り合わせて作った大作です。



富士見特別支援学校

ビデオを使って6年生を送る会!

各クラスからのビデオレターを活用し、ソーシャルディスタンスを保って6年生を送る会を開催しました。



水谷中

新しい1年、新たな仲間と

波乱の1年を乗り越えた水中生たち。新たな仲間が加わり、水谷中の希望に満ちた新しい1年が今、始まります。



富士見台中

先輩として新入生を迎えよう

進級前に準備登校を行いました。2年前の春を思い出しながら、入学式式場の準備として、紅白幕をつけました。



鶴瀬小

ようこそ!鶴瀬小へ!

今年は、84名の1年生が、鶴っ子の仲間入りをしました。6年生がお祝いメッセージをプレゼントしてくれました。

マト・キュウリなどの栽培、終業式等

【二学期】 八月二十五日から十二月十三日

始業式、難波田城公園内古民家での体験活動、宿泊体験活動、流しそうめん、遠足、おにぎりパーティー、調理実習、クリスマスパーティー、終業式等

【三学期】 一月十二日から三月十二日

始業式、避難訓練、もちつき、通室修了証書授与式等

*通年、軽運動や卓球等もできます。

*例年、右のような行事を行っています
が、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、行事の中止や変更すること
があります。

学習や体験活動に加え、お子さんの状態や気持ちを十分に配慮しながら、学校復帰や社会的な自立に向けて様々な取組を行っています。

通室を希望する場合は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。

(問合せ) 富士見市教育相談室

TEL 049-253-5313

(担当者) 指導員 門田・松丸・白澤

教育委員会だより

《令和3年度 富士見市教育行政方針(抜粋)》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
 - 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
 - ・児童生徒に1人1台の学習用PCなどを配備し、大型液晶モニターとの活用により学びを深め、基礎基本の定着を図ります。
 - ・イングリッシュ・サマー・キャンプの充実と実用英語技能検定受験料の補助により、英語の技能向上に努めます。
 - ・児童生徒一人ひとりの個性を尊重するインクルーシブ教育を推進します。
 - 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
 - ・自尊感情を高める「いのち」の授業を引き続き市内全校で取り組みます。
 - ・いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・対応に努めます。
 - ・考え、議論する道徳の成果を全校で共有し、豊かな心の育成に努めます。
 - ・不登校児童生徒に学びの場を確保し、社会的な自立を目指します。
 - 3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
 - ・通学路安全点検を実施し、安全に登下校できるように指導・支援します。
 - ・学校・地域が連携して主体的に自他の命を守る防災教育に取り組みます。
 - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
 - ・小中一貫教育に向け、乗り入れ授業の充実を図り、カリキュラムの研究に取り組みます。
 - ・女子栄養大学との地場産米を活用した給食メニューづくりを実施します。また災害などに備え非常食を備蓄します。
 - ・つるせ台小学校の校庭芝生化整備工事および小中学校6校で体育館空調設備を設置するための設計を実施します。
 - II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
 - 1 家庭・地域の教育力の向上
 - ・家庭学習応援事業の対象児童を拡大し、家庭学習の定着につなげます。
 - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
 - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
 - 4 暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進
 - ・小学校1年生へ利用カードと本を贈るセカンドブックスタートなどを実施し、子どもの読書活動を推進します。
 - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
 - 6 誰もが親しめる生涯スポーツの推進
 - III 組織の総合力を生かした教育の推進
- ※全文は市ホームページ、市役所1階市政情報コーナー、各図書館でご覧いただけます。



生としての主体性が発揮しづらいついて一年。私は生徒たちの行く末を案じていました。しかし、その心配は杞憂に終わりました。みんなの思いをぶつけ合い、踏み出した結果です。

台中生へ、最高のスタートを！

富士見台中学校 教諭 間中 元基



コロナ禍でスタートした令和二年度。一年五組のスタートは声も出ず、あいさつすらおぼつきませんでした。行事も部活動も縮小となり、中学

勝敗よりも感謝を大切にしたい。体育祭。フェイスシールド越しに涙がゆがむ合唱コンクール。生徒からは、「本当に楽しかった!」「全力を出し切り、悔いはありません」「行事がで

時は過ぎ、一年五組の最後の学活。生徒たちの主体性に驚かされました。なんと私に対してサプライズを用意していたのです。一人ひとりの心に

練習をしていたようです。生徒たちが自ら考えたその行動に、私は驚きつつも、一年間の成長に感動しました。

令和三年四月、二年生のスタート。そこには、主体的に考え行動するたくましい二年生の姿がありました。中学二年生、台中生の自覚とともに最高のスタートが切れたようです。



編集日記

今年度は、入学式も始業式も無事終え、いろいろな制限がありますが、四月から学校生活がスタートしました。「きんもくせい」も、五月号から予定通り発行することでき、ほっとしています。今年度も、どうぞよろしくお願ひします。

さて、子どもたちに大人気の本に、「ざんねんないきもの事典」(今泉忠明監修・高橋書店)があります。もうすでに第五弾までが発行されていますが、第六弾が発行されるとか……。

進化の過程で、優れた能力を発揮していく生き物たちですがその優れた表側とは違って、裏側には、ざんねんな部分があるようです。そんなざんねんな裏側がかわいいイラストとともに、わかりやすく、ユーモラスに描かれているところが、子どもたちに大人気の秘密なのでしょう。そしてこの本には、どんなにざんねんな部分をもっている、生きていくことを伝えられたらという、監修者の今泉さんの気持ちも込められていくそうです。

私たち人間も、そんな生き物たちと同じで、優れた部分とざんねんな部分を併せもっています。クスツと笑えるざんねんな部分を認めながら、自分のよさをたくさん見つけて、他の生き物に負けないように、元気に生きていきたいですね。(辻口)

令和3年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。

- 《編集委員長》 辻口 幸恵 (針ヶ谷小学校校長)
- 《編集副委員長》 高原 剛 (東中学校教頭)
- 《編集委員》 富田 香織 (水谷小学校教諭)
- 新井 美沙枝 (水谷東小学校教諭)
- 福井 智子 (勝瀬中学校教諭)
- 天谷 峰子 (水谷中学校教諭)
- 川村 玲絵奈 (富士見特別支援学校教諭)